

## JCに入会して良かった事



広瀬 政子  
2016年度前期新会員

私は2016年度前期新会員として岡山青年会議所に入会いたしました。予想をはるかに超える過密なスケジュールで進んだ半年間の研修ではありましたが、年齢・業種も異なる13名の同期と、研修スタッフの方々の熱心な指導のお陰で最終的には自分なりに楽しみながら取り組むことが出来たように感じています。またこの半年間で当たり前のこととして深く考えることを怠っていた礼儀作法や配りを改めて学び直すことが出来、新たにたくさんの気づきを得ることが出来ました。7月から後期として新しい委員会に配属されましたが、これからは与えられるだけではなく自ら行動し学ぶという姿勢を持ち、また周りの人や自分が置かれている環境に感謝しながら青年会議所活動を行っていきたくと考えております。「全てのことの意味がある」とこの言葉を信じて、ちょっとだけ背伸びしながらこれからも頑張ります。



中村 彰宏  
2016年度前期新会員

今年の1月に岡山青年会議所へ入会して半年以上が経ちますが、非常に多くの貴重な経験をさせていただきましました。特に研修期間での濃密な日々が強く記憶に刻まれています。経営者の方や私のように後継者を目指す者にとっては、社内外において真の人間関係を築ける機会は少ないように感じます。その関係を重視する青年会議所において、個性も業種も様々な12名の同期と出逢い、互いに切磋琢磨しながら活動した時間は、自分にとってかけがえのないものとなりました。それまでの生活サイクルに青年会議所活動が加わるため、最初は時間の調整や、そこまでやる意義を理解することに苦労する時期もありました。しかしそれら全て是自己成長のため、ひいては地域、会社、家族のためになるということ、研修を終えて再確認することができました。今後も配属先での委員会活動を精一杯やり切るとともに、仕事やプライベートにも全力で取り組みたいと思います。

## Junior Chamber International Okayama 公益社団法人岡山青年会議所 入会のご案内



私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。地域社会の発展のため、次世代のまちづくりのために青年会議所の活動を通じ、幅広い交流範囲の様々な人との「出会い」や「学び」、「成長」を繰り返します。地域社会や組織において、より優れたリーダーとなるための切磋琢磨を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

### 年齢・資格

満20歳以上39歳以下の  
品格のある男女

### 募集期間

随時募集しております。詳しくは、  
下記事務局までお電話にてご連絡  
ください。

### 入会に際して必要なものです

- 入会申込書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)
- 履歴書
- 入会誓約書(推薦者に署名と捺印をもらうこと)
- 入会承諾書
- 作文 題目「岡山JC入会にあたって」※万年筆またはボールペンで、楷書で記入のこと ※700字以上
- 会社謄本 ※資格のみで正業に従事する場合は、資格者証の写し
- 本人の住民票
- 写真 ※縦4cm横3cm 4枚(うち一枚は履歴書に貼付) ※白黒写真ネクタイ着用・スピード写真不可

### 〈事務局〉

TEL: 086-223-0938 FAX: 086-225-0500 E-mail: info@jci-okayama.com  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F

## 2016年度 岡山JCホームページ・facebook

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業紹介や会員拡大情報など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

### ホームページアドレス

<http://www.okjc.org/2016/>



### facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>



## 2016年度 広報誌「暖流」Vol.4

■発行日/平成28年9月

■発行/公益社団法人岡山青年会議所  
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル6F  
TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0500  
URL <http://www.okjc.org/2016/>  
E-mail info@jci-okayama.com

■発行責任者/公益社団法人岡山青年会議所

岡山JCの魅力発信委員会 委員長 上神 健治  
末長 一範 難波 秀明 藤井 大温  
安部 真良 芦田 香奈子 安定 あい 河野 初仁  
佐藤 史成 高山 晃一 竹本 幸史 難波 宏行  
中村 彰宏 西山 武志 広瀬 政子

★次号は11月発行予定です。



環境に配慮し、古紙リサイクル率100%の再生紙と植物性大豆インキを使用しています。



VOI.4  
2016.SEPTEMBER  
暖流  
~DANRYU~

# OKAYAMA JC REPORT DANRYU 2016

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OKAYAMA

題字：佐野 範一



## 対談

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ

代表取締役

木村 正明

理事長

公益社団法人 岡山青年会議所  
第66代理事長

佐野 範一

PICK UP

■ 10月ビジネスセミナー ■ 市民公開フォーラム



公益社団法人 岡山青年会議所  
Junior Chamber International Okayama

URL <http://www.okjc.org/2016/>  
E-mail [info@jci-okayama.com](mailto:info@jci-okayama.com)



# 特別対談

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役 木村正明 × 第66代理事長 佐野 範一



**佐野:** 以前、ファジアーノが岡山のクラブであるということをアピールできるものをつくりたいというお話をされているのを聞いたことがあるのですが、ファジアーノ岡山が、これまでの10年間で岡山県民との関係が変わっていったという実感はありますか。

**木村代表:** まずは名前を知ってもらうことが大きなテーマだったのですが、メディアの方からは岡山県民の9割近い方にご存じいただいているのではないかとことをよく聞くので、第一段階はクリアできたと思えます。

しかし岡山県民の約190万人のなかで一回でも試合に来た事があるという人は、20~25万人。名前を知ってはいるけど、来た事が無いという人に、いかに観戦してもらえるかという仕組みを考えているのですが、それには3つの段階があります。第一段階は「名前を知ってもらう」。第二段階は「一度利用してもらう」、最後の段階として「リピーター・虜になってもらう」となります。一度来ていただいた方が20~25万人というのは、この10年間で増えたとはいえ、まだまだなんですよ。スタジアムまで来ていただくことに正解はないのですが、2つポイントがあるといわれていて1つが「人を介した紹介」、2つめが「ちょっとした感動」です。なかでも特に「人を介した紹介」にこだわっていて、いま観戦くださっている方々が、誰かを連れてきてもらえるよう、徹底的にこだわっています。

**佐野:** なるほど。今試合に来てもらっている人に、家族や友人を誘って一緒に来てもらうということですね。

**木村代表:** そうですね。せっかく来てもらったのに嫌な思いをしたらもう来てもらえないので、「また行ってやろうか」と思っていただけのようなホスピタリティを充実させています。そのひとつとして年間パスポートを持っている方が前売券または当日券をお持ちの方と一緒に来場された場合、「誘った方」、「誘われた方」それぞれにTシャツをプレゼントしたり、そういった取り組みも行っていきます。

**佐野:** ちょっとした感動体験ですね

**木村代表:** はい、また地道な努力という意味では、毎試合ごとに1万枚のピラを岡山駅前や市役所、県庁、倉敷市役所、あるいはゲリラ的にショッピングモールなどで配ったり、スタジアム周辺にポスティングでまわったりと、いかに来てもらえる“きっかけづくり”ができるかを考えています。

**佐野:** またファジアーノ岡山では小学生が無料観戦することができる「夢バス」があり、子どもがいけば親やおじいちゃんおばあちゃんも一緒に行くという、非常にいい仕組みがありますよね。

**木村代表:** 少し話は変わりますが、自分が子どもの頃、野球をやっていた、広島に試合に行ったとき、相手チームの選手が試合後にこれからカーブの試合を見に行くという場面がありました。そのころはプロの試合を生で見るとか考えもつかなかったので、ショックでしたね。それが東京に出て海外に行くときと身近にプロの興行が見れるんですよ。大人はお金や時間も少々融通が利くから神戸や広島、大阪に行けるかもしれないけど、子どもはそうはいかない、そんな話をしていたら、子どもは無料で観れるようにしたほうが良いんじゃないかという意見が出てきて、青年会議所OBでもあり、うちの役員でもある吉田大助さんが発案しました。企業の方々もそれに賛同してくださって、子どもたちの入場料を企業様が肩代わりしてくださるシステムで、始めた当初はJリーグでも初の試みだったのですが、いまは多くのクラブが行っているで商標登録しておけばよかったなと(笑)やはり子どもたち同士でも試合に来てほしいですし、この間の讃岐とのダービーマッチでは全体の15%程度が子どもたちでした。家族も一緒に来てやすいですし、このシステムは大切にしていきたいですね。

**佐野:** また木村社長の有名な話として、外資系企業を退職されてからファジアーノ岡山の代表に就任されましたが、当時はどういう思いだったのでしょうか。

**木村代表:** そうですね……。色々なきっかけがあったのですが、以前の会社にいた頃は同期が39人いて、日本人は僕一人だけでした。それがニューヨークで一堂に会するのですが、「お前どこから来たんだ？」って言われた時、岡山だって言うし知らないんですよ。東京はもちろん広島や京都は有名なんですけど、知られていないというのが悔しかったです。関東でもそうですよね。岡山の場所はあまり知られていないし、自分の地元をもっと知ってもらいたいという気持ちが生まれてきたのかもしれないですね。そこでファジアーノの話をしていただいた時に、浦和レッズの事を思い浮かべました。レッズは埼玉のクラブですが、東京の人たちも一目置いていると思うし、世界でも知名度がある。だから岡山も次の世代がチャンピオンシップとか、アジアチャンピオンシップまで行けば、相当の人が知ることになると思うし、広島カーブのような存在になりうると思っています。

**佐野:** ではサッカーのみならず、我々企業や行政青年会議所のような団体がどんな部分で協力できるのでしょうか。

**木村代表:** 日本にJクラブは53あって、いわゆる企業型クラブじゃない、市民型クラブはほとんどがJCの出身者のみなさまが経営に携わっています。例を挙げればきりがありませんが、地域を元気にしていく青年会議所様の方向性と、Jクラブはベクトルが一致していて、色々な形でタイアップを行っています。例えばサッカー教室と一緒にやったり、10年ほど前から火花大会でファジアーノの中心サポーターが後片付けをしてくださっているのですが、青年会議所様はもっと以前からしてくださっていますよね。人が見えない所でも汗をかくというのも我々学ばせていただいていますし、地域の元気のために本業とは関係なく汗を流してらっしゃるJCという集

団を、我々はリスペクトさせていただいていますし、後を追って地域にとって意味のある存在になっていきたいという想いがあります。

**佐野:** 岡山の街を元気にするのが共通の目標でありますし、ぜひ一緒に何かできたらと思いますね。また最近の子どもで言えば体育の事業で体力の低下や、ケガをしやすいつてか言われていますけども、サッカー教室などをやっていると体感するようなどことはありますか。

**木村代表:** 子どもの体力の低下は、現場でもつぶさに感じています。岡山に帰ってきた当時に比べても、基礎的な運動能力が落ちているような気がしていますね。例えばファジアーノの練習拠点がある政田の天然芝は小学生の遠足にいつでも使ってくださいと言っているんですよ。いま全国の小学校で天然芝がある所は3000ぐらいあるのですが、岡山はまだ少ないんですよ。天然芝というのは環境にもいいし子どもたちが遊ぶには適していますから、コケても平気で遊ぶのが楽しくなるので、裸足で天然芝の上を鬼ごっこしたり、走ったり、ぜひ政田のグラウンドを使ってほしいんですよ。また学校の授業や部活動でも、専門の先生がいなければ週に一回うちのコーチを派遣するなど、地域とクラブが学校と一緒に動く時代になっていくと思うので、我々はそれに耐えうるだけの人員をそろえているのでいつでも呼んでいただければと思います。無料のサッカー教室は6~7年で170箇所、1万3000人くらいの子どものたちに行っていますから、ファジアーノのコーチや選手に触れたことのある子どもたちは増えていると思うのですが、もっと学校現場に行きたいんですよ。

**佐野:** またチームでも、選手がピッチに倒れている時もプレーを継続したり、いろいろとされていますが、選手に求めることはありますか



**木村代表:** 基本的にクラブは社会的な存在意義がなくてはダメだと思っています。我々も何のために存在するのかという事を役員と確認したのですが、“きれいな顔つきの集団でいよう”と。例えばうちの選手は茶髪禁止で、全員、黒髪を徹底しています。プレー面で具体的にフットボールのスタイルは三つあって、「ハードワーク」、「コミュニケーション」、「切り替え」となるのですが、ハードワークは90分間走る量が一番多いかという事。コミュニケーションは、言いたいことを言っている関係であるかという事。切り替えは瞬間で切り替えて何秒で戻ることができるか、取られたら何秒で奪い返すかという事。選手をお金でとってくる事ができるクラブではないので、集団力で戦うしかない。そのため、この三つにこだわって選手を選んでいるつもりです。強化部門が選手の人選を行っているのですが、ほくは監督の人選とか選手の人選には一切口を挟まなくて、予算を与えて今申し上げただけを留意してもらえれば、あとはお任せしています。それが良いか悪いかは結果がすべてだと思いますので、結果が出ていな

ければ僕らは弱いチーム。でも又強いのは避けたくて、今年、広州恒大っというアジアで一番お金持ちのクラブから選手がひとり来たのですが、通訳が茶髪だったんです。すると選手たちが黒い髪にしると。軍隊みたいだなと思うんですけど(笑)、また今年に入ってきた大学リーグのベストイレブンの慶応の久保や明治の藤本も、そうしたファジアーノのチャラくないところが好きで選びましたという風になっているんですね。

**佐野:** ではファジアーノ岡山が地域に根付いていくためのビジョンというのとは。

**木村代表:** 青年会議所様の諸先輩方の皆様と接する機会のなかで、「街づくりとは人づくり」だと教わりました。クラブにおいても、一言でいえば僕ら自身が愛されるクラブにならないといけない。そこに嘘があれば人々は見抜きますから、それを徹底して貫ける集団であるかという事を試されていると思います。最初の10年それを強く意識してきたんですけど、これからの10年も、それに対して行動を誤らない集団でありたいなと思います。経営的な観点から言うと、よく「右手にロマン、左手にそろばん」というのですが、基本的には選手にはみんな代理人が付いていて、率直な話、いちばんオファーの金額の高いところ、提示年俸が選手の評価になるのでそこに移っていきます。となるとやはり「そろばん」も大事になるので、その両立を意識してきたんですけど、10年たってある程度基盤ができてきたここからは、できるだけ理念経営に近づけていく。“子どもたちに夢を”ということ、もう一歩、二歩、突き詰めることを、具体的な形で示したいなと。

**佐野:** ではファジアーノが夢をあたる集団であり続けるには？

**木村代表:** これまでもやってきたつもりなのですが、サッカー以外の種目でも、子どもたちがしたい競技が指導者がいないばかりにあきらめてしまうことは悲しいことなので、サポートできることはないかということ、を上げていきたいです。あるいは有力選手が岡山に残りたいけど、良い指導を仰ぐと思ったら広島や福岡の高校に行かなきゃいけないというのも悲しいことなので、そういったことに対してクラブとして打てる手を打っていくのが重要だと考えます。

**佐野:** JCの活動も「人づくり街づくり」を掲げていて、自らが成長しないと組織も成長しないわけですから、ファジアーノと通じる部分もあるなと。

**木村代表:** 青年会議所様はそうしたグローバルな観点で組織をつくられていて、理事長の年度の方針が示されて、それによって組織を組んで1年で結果を出すということ。メールの出し方ひとつでも勉強になるし、挨拶の仕方ひとつをとってもしっかりしているので、ファジアーノ岡山の組織作りにも大いに参考にさせていただいています。組織あってこそその活動ですから、そこは選手にも口を酸っぱくして言うのですが、実際成功しているクラブというのは青年会議所様のいいところというのを取り込んでいるので、これからも勉強させていただきたいです。

**佐野:** そう言っていただくとありがたいですし、我々もそういった成功できるメソッドがあるわけですから、自分たちも活かして岡山の力になっていければと思います。今日はありがとうございました。



## 事業予告

### 10月ビジネスセミナー(小嶋 光信 氏)



両備ホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼CEO

こじま みつのぶ  
**小嶋 光信**

日時 **2016年 10月12日(水)**  
19:45~21:30 [受付開始]19:20~ [セミナー]60分 [交流会]45分

場所 **岡山プラザホテル**  
〒703-8256 岡山県岡山市中区浜2丁目3-12

申し込みはホームページの登録フォームから  
<http://www.okjc.org/2016/>

対象  
**40歳まで**

参加定員 **60名**

参加費 **無料**

経営者  
**必見**

#### Profile

岡山青年会議所第35代理事長(1985年)。  
(1999年)  
両備バス株式会社(現・両備ホールディングス株式会社)代表取締役社長  
(両備グループ代表)。  
(2006年)  
南海電鉄が運営を断念した貴志川線(和歌山県)を引き継ぐため、  
和歌山電鐵株式会社を設立し、社長に就任。  
駅の売店の別名「たま」を「駅長」に任命したことが全国的な話題を呼び、  
この和歌山電鐵をはじめ、全国各地の地域公共交通の再生に積極的に取り組む。  
(2011年)  
両備ホールディングス株式会社 代表取締役会長兼CEO  
(両備グループ代表兼CEO)に就任。

ちゅう じょ ち こう ころ いっ  
**忠恕と知行合一が  
経営を変える!**

~未来を担う若手経営者の皆さんへ~

### 市民公開フォーラム(佐々木則夫 氏)



世界一のコミュニケーションから学ぶこと  
~Change Myself and Change Everyone~

さ さ き のり お  
サッカー  
日本女子代表  
前監督 **佐々木 則夫**

2016年 **10月26日(水)**

料金  
**1,000円**

職場や家庭での子育て、どんな場所でも活かす事のできる  
世界一に輝いた、コミュニケーション術教えます。

(C) Yoshimitsu Koriyama

公益社団法人岡山青年会議所事務所  
[ホームページ] <http://www.okjc.org/2016/>  
[お問い合わせ時間(平日)]11:00~13:00・14:00~17:00  
[お問い合わせ先]TEL.086-223-0938

会場 **岡山市民会館**

岡山市北区丸の内2丁目1番1号 TEL.086-223-2165

## 事業報告

### 岡山JC魅力体験キャンプ~「思い」でつながる子供未来創造プロジェクト~



7月23日24日だけでたけの森公園にて岡山市内の小学4年生~6年生迄を100名募集し、キャンプの体験事業を開催させていただきました。自然の中で、初めて顔を合わす仲間と野菜収穫・自分たちの手で実際に収穫した野菜を用いてのカレーの調理夜にはキャンプファイヤー・テント宿泊と普段体験出来ない事を仲間と共に自ら考え行動する事業と成りました。翌日はクイズ形式で岡山にちなんだ問題を出題しグループ毎で考え回答をしていただきました。岡山の潜在する魅力についても多く学んでいただき岡山のまちに興味を持ち岡山のまちを誇りに思っていただけの機会と成りました。  
岡山の未来創造委員会 副委員長 正保宏倫

### 観光地クリーン運動について

毎年うらじゃ後に行われる、岡山城周辺の観光地クリーン運動。今年は、例年よりも岡山城を訪れる観光客数が増加し、外国人の観光客も増加しています。岡山市の重要な観光スポットである岡山城のクリーン運動の一翼を担う岡山青年会議所は、その責任を感じ、郷土おかやまのために活動できることを誇りに思います。これは、諸先輩方が築き上げてこられた岡山市との信頼関係の証です。休日にもかかわらず、40名を超える現役会員が参加し、早朝から汗を流し、岡山城周辺の清掃を行うことで、強度おかやまの更なる発展に寄与できましたことをご報告いたします。  
まちづくり委員会 副委員長 岸 紘史



### 第3回キッズビジネスパーク~ぼくたち・私たちの夢探し~



去る、2016年8月28日(日)に「第3回キッズビジネスパーク~ぼくたち・私たちの夢探し~」と題し岡山ふれあいセンターにて開催いたしました。本年度で3回目となる本事業は、参加児童500名、出展企業44社、ボランティア約150名の事業で、子供たちが中心となり、「まち」を運営していく中で子供たちがその夢に向かっていく力を養っていただく事で、未来に向け自ら変化を生み出し行動することを実施目的に掲げ、計画をしました。盛況に終わりました、「第3回キッズビジネスパーク~ぼくたち・私たちの夢探し~」の開催にあたり、協力企業・団体、公益財団法人岡山市ふれあい公社、大勢のボランティアスタッフのご協力をいただきました岡山県立岡山東商業高等学校、岡山商科大学並びに、後援、協賛で尽力くださいました皆様と、常日頃より陰ながら支えてくださる師兄の皆様へ深く御礼を申し上げ活動報告とさせていただきます。  
岡山の未来創造委員会 副委員長 關和敏

### 第37回10LOM対抗テニス大会・名古屋大会

8月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり、第37回10LOM対抗テニス大会・名古屋大会が開催されました。本大会は今年で37回目を迎え、全国10都市から総勢150名の参加者で行われました。岡山JCほたる会からは、梶原会長や青木キャプテンはじめとする先輩・現役メンバー合わせて12名で大会に挑み、テニスを通して、ほたる会メンバーや全国からの参加者と交流を深めることができました。結果は15チーム中、8位でしたが来年度の大阪大会に向け上位を目指して頑張ります。



### 福武和彦先輩生誕80周年祝い 2016年度第1例会 子志の会



8月31日(水)福武ジョリービルにて「福武和彦先輩生誕80周年を祝う会」がとり行われました。2016年度子志の会第一例会において、特別会員から現役会員まで約40名が出席し、当時の福武先輩にまつわる思い出話に花を咲かせました。福武先輩の偉業に触れるとともに、義理と人情に対する姿勢が岡山青年会議所で脈々と受け継がれていることを肌で感じ、今後の活動に向けて大きな励みとなる貴重な機会でありました。

子志の会 中村 彰宏



第23回うらじゃ



第23回うらじゃ



岡山の夏の風物詩である「第23回うらじゃ」が盛大に開催されました。参加された6200名の踊り子の皆様、その踊り子を陰ながらサポートされた800名のボランティアの皆様、そして猛暑日であるにもかかわらず熱心にご声援を送っていただいた55万人の観客の皆様、その一人ひとりが「うらじゃ」を支える幹となり、岡山市の地域振興を活性化させました。多くの岡山市民の皆様、岡山青年会議所関係者の皆様のご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。また、協賛企業、行政、マスコミをはじめとする関係各位の皆様のご尽力により無事開催できたことに改めて感謝申し上げます。

さて、今年で23回目を迎える「うらじゃ」のテーマは、23年前に『共生と融和』をもとに、携わるすべての人が郷土愛や人と人の繋がりを大切にする心を育み、「まちのために行動を起こせる人」「感謝と思いやりを持てる人」に成長していただくために「うらじゃ」を始めたことを皆様に今一度再認識してもらうために、『幹』にさせていただきました。

今年は岡山大学で実践型社会連携教育の年間授業で「うらじゃ」が選ばれたり、上智大学の先生が2日間とも見学に来ていただいたりしました。「うらじゃ」が素晴らしいまつりになったからだと考えます。

また、市役所筋の使用面積も昨年よりも北側に広がり、新たな試みである市民参加型のうらフェスの開催など、従来の「うらじゃ」の幹を踏襲し、少しずつ進化することができました。うらフェスにおきましては、今まで「うらじゃ」に参加する機会がなかった観客の皆様に参加することの楽しさを体験していただくことで、より一層「うらじゃ」を楽しんでいただけたことと確信しております。

今年もうらじゃ開催のために岡山青年会議所として、うらじゃ開催支援のための広告募集を募り、多くの企業の皆様のお陰をもちまして、踊り子、県内外からの観客、ボランティアの想いに応えるだけではなく、中心市街地活性化の一助となるべく「うらじゃ」の幹を太く大きくすることができました。来年も、皆様の大切な「うらじゃ」がより盛大に開催できるよう、我々岡山青年会議所も真剣に考えて参ります。今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まちづくり室 まちづくり委員会 副委員長 岸 敏史



## お知らせ

### 2017年度理事長予定者紹介



第67代理事長予定者 **高見 宣哉**

■プロフィール  
生年月日/ 1977年9月3日  
入会年月日/ 2011年7月入会  
勤務先・役職/ タカミエーゼント株式会社 代表取締役  
学歴/ 早稲田大学商学部 卒業  
職歴/ 2001年4月 日本電気株式会社(NEC) 入社  
2006年12月 タカミエーゼント株式会社 設立  
同社代表取締役 就任  
現在に至る

少子高齢化社会の中、人口増加率が比較的高い岡山ではありますが、更なるまちの魅力向上を図るためには、雇用創出や地域資源を掘り起こし、安心して出産や子育てができる環境づくりを進めていかなければなりません。教育や医療の仕組み、ライフスタイル、ダイバーシティや都市形成も含めた、産業や企業の構造に至るまで社会の在り方を提案できる鋭敏で先見の感覚が必要になります。また、行政も含めたスケラビリティ（拡張性）を意識することも重要です。意義や志を貫き通すためには、独力の活動に固執する必要はなく、今のおかやまに必要なことやこれからの岡山に必要なことを行政、企業、他団体、そして市民を巻き込みながらまちのために展開していくことでまちづくりを確立して参ります。そのような中で、今年で24回目を迎える「うらじゃ」は、踊り連の練習風景を河川敷や公園で見かけることも珍しくなくなり、すっかりおかやまの夏の風物詩として浸透しています。「共生と融和」をテーマに、地域の活性化を目指し、創り育

ててきた「うらじゃ」。運営や振興に積極的に携わることで、本祭の賑わいは勿論のこと、まちづくり、教育、観光といった多くの切り口をもったおかやまの資源としての更なる発展を見据えて取り組んで参ります。

そして、そんな活動を続ける岡山青年会議所を世間に広く知ってもらうためにも、広報活動が極めて重要となります。マスメディアとの密接な情報共有は勿論のこと、会報誌やSNSといったツールを用いた積極的な情報発信を通じて周知を徹底し、自身のブランディングを進めることは、これからの岡山青年会議所にとって必要不可欠な積み重ねであり、且つ、先見性を高めるための土台となります。

岡山青年会議所の誇るべき財産は連綿と受け継がれてきたひとづくりとまちづくりの風土にあります。礼儀礼節はもとより、懸命に明るい豊かな社会を築き上げようと集まり散じた66年間の久遠の風土を現代社会でどのように具現化していくかが問われています。2017年度は岡山JC設立趣意書の「経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。」という言葉のもと、実直に、猛々しく、そして毅然たるJC活動を邁進し、郷土おかやまの発展の原動力として存在感を高めて参ります。末筆となりましたが、行政の皆様、教育機関の皆様、マスメディアの皆様、市民の皆様、そして、支えて下さるすべての皆様方に対しまして日頃の感謝を申し上げますと共に、引き続き絶大なるご支援ご協力とともに、ご指導ご鞭撻を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

#### 公益社団法人 岡山青年会議所 JC歴

2011年度/ 後期入会 会員研修委員会 委員	2015年度/ 会員拡大特別委員会 理事委員長
2012年度/ 会員研修委員会 委員	2016年度/ 副理事長 兼
2013年度/ まちづくり委員会 幹事	会員研修委員会 委員長
2014年度/ 総務委員会 副委員長	

### 2017年度 執行部予定者紹介



直前理事長  
**佐野 範一**



監事  
**岡部 憲一郎**



監事  
**久松 朋史**



ひとづくり室  
副理事長  
**李 大成**



まちづくり室  
副理事長  
**小林 佑輔**



会員交流室  
副理事長  
**青木 浩平**



総務室  
専務理事  
**野上 昌範**



会員交流室  
常務理事  
**木村 治貴**



総務室  
常務理事  
**磯島 慈海**

## お知らせ

### 2017年度 新理事予定者紹介



会員研修委員会 委員長予定者  
**岸 紘史**

2017年度会員研修委員会の理事委員長を拝命いただき、その責任の重さに身の引き締まる思いです。会員研修委員会では、岡山青年会議所に入会する新会員をお預かりし、半年間にわたる研修を実施する中で、新会員同士の絆を深めると共に、成長するチャンスを創出して参ります。新会員一人ひとりの大きな成長の為に、そして岡山の未来の為に、影響力のある自律したリーダーの育成に努めて参ります。一年間、ご指導ご鞭撻の程、よろしくごお願い申し上げます。



リソース向上委員会 委員長予定者  
**古市 聖一郎**

次年度、ひとづくり室リソース向上委員会の委員長予定者という大役を拝命し背筋の伸びる思いでございます。当委員会では会員拡大と現役会員全体の質の向上を目指すことを職務としています。なんといっても会員拡大については近年増加傾向にあるこの流れを断ち切ることなく、次年度中に現役会員数が100名を超えることを目指します。そして次年度理事長所信にもある、「ひとりひとりが輝く」、そんな岡山青年会議所を目指して参ります。



スケラビリティ創造委員会 委員長予定者  
**末長 一範**

次年度スケラビリティ創造委員会・委員長を拝命しました末長一範です。委員会名に恥じることはないように、愛郷おかやまのために出来ることは何かを、真摯に考え、時には市民、行政、企業や他団体と連携し、「健全で、共感を呼ぶ」創造的な事業展開を図りたいと思います。輝くおかやまの未来のために、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができ若い世代が、市民が希望を持てるまちづくり、ひとづくりを目指したいと思います。



まちづくり委員会 委員長予定者  
**正保 宏倫**

2017年度理事委員長予定者として重責をいただき、高見理事長を一年間しっかりと御支え出来る様、精一杯努めて参る所存でございます。高見理事長のおっしゃられておられる我々岡山青年会議所の誇る財産で有ります連綿と受け継がれてきたひとづくりの風土を強固な一体感のある組織中でメンバーに伝えて行きます。又、最終年度という事も有り、人とことんこだわって突き進んで参りたいと思いますので、どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくごお願いいたします。



渉外委員会 委員長予定者  
**柴田 収**

この度2017年度渉外委員会理事委員長を拝命いたしました、柴田収と申します。岡山青年会議所の活動は基本的に地域に根差したものです。地域の垣根を越え新しい文化や風習、考え方に接することで得る学びもあります。当委員会は、メンバーが地域を越えた活動を通して成長し、郷土おかやまの発展に繋げることを目標といたします。つきましては、渉外委員会の活動にご支援ご協力たまわりますよう、よろしくごお願い申し上げます。



交流推進委員会 委員長予定者  
**仲村 陽平**

高見理事長予定者のもと、交流推進委員会の理事委員長予定者を仰せつかりその責任の大きさを感じております。私たちは激変する環境の中でJCを行い、便利な世の中でそれがいくコミュニケーションとは逆行しながらも、真の友情を育むために、膝と膝を突き合わせて語り合う機会が多い環境下にあります。次年度はその環境をより多く創り出し、LOM内外の交流を促進し、高潔な団体の在り方を常に意識しながら活動を行ってまいります。



例会委員会 委員長予定者  
**藤井 大温**

この度、例会委員会の理事委員長を拝命いたしました藤井大温です。例会はメンバーが一同に集う数少ない貴重な時間です。今年、例会委員会が設置されたことの意味をしっかりと考え、形式的になってしまわぬように心がけるとともに、メンバーが出席して納得できるような価値ある例会の設営をして参ります。またメンバーの見聞が広がるよう普段では聞けない講師を例会にお招き絶対行きたい！そんな例会にして参ります。



総務・広報委員会 委員長予定者  
**金沢 竜志**

人口減少に少子高齢化、経済のグローバル化など、数々の課題が山積するなかで、岡山ならではの魅力あふれる「まちづくり」が、我々には求められております。岡山青年会議所に代々受け継がれてきた「ひとづくり」という伝統を最大限に生かし、新理事として、仲間と共に変化を恐れず、何事にも積極的にチャレンジし、活力があふれ、魅力あるまち、「おかやま」を創造できるよう精進して参ります。どうぞ、よろしくごお願いいたします。